

第14期 2024（令和6）年度

社会福祉法人もやい聖友会 事業計画

第14期 社会福祉法人もやい聖友会 事業計画

＜ごあいさつ＞

もやい聖友会は、創設から丸13年を迎えます。

人件費や物価が高騰する中、経営面では決して言えない状況下にあります。また、少子高齢化社会という波は、事業所の運営にも大きな影響を与えるようになってきました。医療、介護、障がい部門のトリプル改定といった大きな変動により、職務負担も大きくなり、そのため日常的に行われてきた様々な取り組みや活動の見直しもなくてはならない時期となってきました。

これまでの、職員、地域の方々の支えあつての事業継続ではありますが、これからは、利用者やそのご家族のご協力もいただけるような意識改革も必要と考えています。

『おたがいさまで笑顔がいっぱい』を基本理念として、昨年に引き続き「つながる」をテーマに、第14期は、「価値観や意識の改革」を追加いたします。

それにより、「収入の拡大」「業務効率化の改善」「職員の活躍出来る機会の創出」「パフォーマンスの向上」を目指すべく事業計画を策定します。

私たち、社会福祉法人もやい聖友会は、これからも変わらず、

「医療、福祉、そしてまちが一体となった、

誰ひとりも孤立しない安全安心な

次世代を育てられる地域共生社会を目指して」

未来の子ども達のために頑張ってまいります。

社会福祉法人もやい聖友会
理事長 権頭喜美恵

1. 法人理念『おたがいさまで笑顔がいっぱい』

2. テーマ「つながる」「価値観や意識の改革」

3. 目標 ◎利用者やその家族が、在宅、施設共に、住み慣れた地域や社会の中で、地域住民として健康で豊かな生活を送っていただけること

◎医療、福祉、地域との連携をはかり誰ひとりも孤立しない地域づくり

◎次世代を育てられる地域共生社会を目指した活動

◎災害、感染症などリスクに対して、職員一丸となり安全対策を図る。

◎職員、利用者の活躍出来る場の創出とパフォーマンスの向上

◎職員等の健康管理を経営的な視点で考え、健康の保持・増進につなぐ

る取組を戦略的に実践する「健康経営」を推進

◎直接支援以外の業務効率化の改善と DX 推進

I：利用者にとって

- ① 誰もが「地域住民」「社会の一員」として笑顔で生きると手伝い
- ② 自分らしい生き方の延長線上にあるコミュニケーションの推進

II：地域にとって

まちごと丸ごと『サ高住』構想

- ① 地域の人々が地域の人を支えていける世代を超えた地域共生社会のために、人と人、人と地域を繋ぐ活動
- ② 次世代育成を考えた「生きるを繋ぐ（終活）」活動
- ③ 発信の場としての居場所やコミュニケーションづくり
- ④ 職員の専門性を活かした地域における医療や福祉の知識や情報の共有

III：法人にとって

- ① 健康経営の推進による福祉現場のイメージアップ
- ② さらなるDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進による組織強化
- ③ 人材の確保と育成
- ④ 事業所の業務効率化の改善

3. 運営事業

(1) 介護保険事業

特別養護老人ホーム

ケアプラザ倶楽部雪月花（29床）（稼働：19床）

銀杏庵穴生倶楽部（120床）（稼働：110床）

短期入所生活介護

短期入所生活介護 円（10床）（稼働：0床）

短期入所生活介護 ゆい（10床）

認知症共同生活介護

グループホーム蓬萊（18室）

小規模多機能共同生活介護

喫茶去庵（25名登録）

(2) 保育事業

北九州認可小規模保育事業所

もやいのうち保育園（定員 19 名）

華里おひさま保育園（定員 19 名）

(3) 障がい福祉事業

障がい児放課後等デイサービス（雪月花内）

もやいのえんがわ（定員 1 日 10 名）

未就学児児童発達支援事業所（雪月花内）

もやいのえんがわ（定員 1 日 10 名）

就労継続支援事業所 A 型

MOYAI ステーションねむのき（定員 1 日 10 名）

就労継続支援事業所 B 型（定員 1 日 10 名）

(4) その他の事業

ふれあい村竹末 見守り事業

MOYAI ステーション 96cafe（コミュニティカフェ）⇒2年以内に閉店予定

公園の隣接地「もやい夢ガーデン

地域コミュニティ FM ラジオ（サテライトスタジオ）

もやいろフアーム（日鉄興和不動産より借地）

4. 重点目標

(1) 法人運営基盤の安定

① 事業収支±0

- ・利用者の食事料金や納入業者の見直し
- ・処遇改善支給方法、給与規定、賞与規程など見直し

② 会計、経理業務の改善

- ・事業所ごとの試算表の定期的なチェック
- ・顧問契約税理士の見直し変更

③ 労務関係の法令遵守

- ・社会保険労務士顧問契約の締結
- ・人事、労務の業務効率化

④ リスク管理

- ・デジタルデータの増える中でのサイバー攻撃に備えた職員教育やセキュリティの徹底
- ⑤ DXの推進による組織強化と業務の効率化
- ・見守りシステム
- ・

⑥ ワークライフバランスを考えた人材の確保と育成

- ・未就学児子育て世帯職員への支援
- ・健康経営優良法人 2025 への更新認定に向けての準備
- ・健康宣言ふくおかの実践
- ・介護応援宣言への登録とその実践
- ・出会い応援団体への登録とその実践

- ・子育て応援宣言への登録とその実践
- ・特定技能実習生の生活支援（ベトナム、インドネシア）
- ・子連れ出勤推進
- ・赤ちゃん職員の採用
- ・カイテクの活用
- (2) 大規模災害に備えた防災・減災
 - ・非常食備蓄について、サンキュードラッグとの協定を締結
 - ・各事業所のBCP策定（事業継続計画）と見直し
- (3) 地域とのつながり
 - 引野、穴生、竹末若葉、永犬丸、担当者を中心にそれぞれの繋がりの構築（地域へのご恩返し活動）
- (4) 今後の事業展開の検討・準備
 - ①健康チェック（まちの保健室）
 - ②駐車場用地の確保
 - ④特養の「雪月花」で認知症に特化した相談窓口の設置

5. 各部署の実施計画

- (1) 理事会（5月下旬：決算、9月中旬：補正予算、3月上旬：予算）
評議会（6月中旬：決算、10月上旬：補正予算、3月下旬：予算）
- (2) 経営・管理者会議（定例月1回の開催）
 - ① 事業経営安定化のための経営分析
 - ② コンプライアンスのための各事業の定期的な確認
 - ③ 人員の確保と適正な配置
 - ④ 施設・設備の修繕に関する実施スケジュール及び資金計画
 - ⑤ 理念や運営方針共有のための理事長研修
- (3) 主任会議
 - ① 信用を損なうことのない運営
 - ・ 各種法令や運営基準等に対する遵守度の確認とのための職員教育
 - ・ 法人及び各事業の運営状況等の積極的な情報の開示
 - ② サービスの質の管理
 - ・ 「笑顔」と「あいさつ」を基本としたサービスの徹底
 - ・ サービスに関する各種マニュアルの見直しと提供サービスの評価
 - ・ 事故や苦情に対する迅速かつ丁寧な対応
 - ・ 事業所独自ルールを見逃さないように検討会議の開催
 - ③ 人材育成
 - ・ 全事業所の資格チーム毎の勉強会の開催（PT、看護師、相談員、保育士など）
 - ・ 研修計画の作成と実施
 - ・ 人事考課に基づいた職員個々の育成

- ・ 教育実習、ボランティアの積極的な受け入れ
- ・ 資格取得のための支援

④ リスクマネジメント

- ・ 接遇、事故防止、苦情等に対するリスク回避のための研修
- ・ 感染症の発生、蔓延予防のための発生状況の把握と予防策の作成、
- ・ 職員への研修

(4) 介護老人福祉施設

① 目標稼働 稼働率 98.0%

② 空床発生時の対応

- ・ 空床発生時には、臨機応変に短期入所として活用
- ・ 利用申込者の状態把握(実調)を相談員により毎月 5 件行い、空床発生から 1 週間を目安に新規受け入れを行えるようにする

③ 多職種連携の強化

- ・ 職種、部署、職員間の共通理解を形成し、多職種協働によるサービスを提供し、看取りへの理解や積極的な受け入れ体制を構築
- ・ 施設サービス計画及び栄養ケア計画等、多職種協働による形成、カンファレンス(アセスメント、モニタリング)の充実

④ ローコストオペレーション

- ・ 業務の見直し、マニュアル化による無駄な動きの整理
 - ・ 物品関係の実績を毎月、評価・検証を各委員会の担当レベルにて行う
 - ・ サービスに関する物品のコストパフォーマンス面での見直し
- ##### ⑤ インドネシア、ベトナムをはじめとした特定技能実習生の受入れと支援
- ・ 介護の現場の中の生活支援での人手不足の削減
 - ・ 文化的背景の異なる職員がいることで相互理解のための思いやりをもった職場への変革、多文化共生への理解

⑥ カイテクの活用

⑦ ボルクバレット北九州など他企業との連携

(5) 短期入所生活介護

① 目標稼働 稼働率 80.0%

② 新規顧客の開発とリピーターの継続利用

在宅高齢者であることを踏まえ、お客様のご家庭での状況を理解し、在宅生活が長く送ることが出来るサービスを提供する

③ ローコストオペレーション

業務の見直し、マニュアル化による無駄な動きの整理

(6) 社会貢献事業

① 地域包括ケアの構築推進に向けて

医療・介護・予防だけでなく、それらを支える土台となる本人や家族の選択と心構

え、そして、地域における生活の基盤となる「住まい」「生活支援」のシステムを構築していくためのまちづくり活動への参加をします。事業所を開設している洞南地区での地域の活動のお手伝いを積極的に行います。「地域まるごとサ高住」を目指します。

②地域福祉の核としての存在

高齢者だけでなく障がい者や子育て支援など、地域の人にとって相談できる「地域包括ケアセンター」や「まちの保健室」「もやい通りマルシェ」、子ども食堂である「みんなの食堂もやい」「の運営や、施設の貸し出しを通して、地域に居住する子どもから高齢者までの居場所づくりを行い、コミュニティの場として機能できるような運営を行います。

施設や人材を地域のために活用していただけるように努めます。また、子育て支援を通して次世代の育成にも力を入れます。

③地域の活性化

北九州市は、政令市の中でも高齢化率（65歳以上人口）がトップです。

①や②を実践することによって、住みよいまちを目指し地域の価値をあげることによって地域の活性化につなげていけるよう率先して考えていきます。

④地域貢献活動への支援

職員が地域の行事や運営の手伝い・ボランティア等を行った場合、職場と離れたところでも、地域貢献に積極的に取り組もうとする職員を応援します。

社会福祉法人が、施設などの事業所運営だけを行っているのは、公益性は希薄化し営利法人となんら変わらなくなってしまいます。新たな公益性を示すための取り組みをすべきであり、それはその地域で必要とされることであり、社会情勢にも合致した社会貢献事業を考えていかなくてはならないと考えています。

<今後も継続していく地域貢献活動>

① もやいを拠点とした活動

- ・洞南地区地域包括ケア推進会議 ⇒ 地域連携推進会議
- ・八幡西繋がるまちづくり大発表
- ・施設の貸し出し ⇒ 約50団体が利用
- ・カフェ楓の運営
- ・地域コミュニティ FM ラジオのスタジオの運営
- ・お月見茶会
- ・健康教室の開催 ⇒ 他団体とのコラボ
- ・サービス付き高齢者向け住宅での「ひとつ屋根プロジェクト」の支援
- ・まちかど介護相談室（高齢者福祉事業協会）
- ・MOYAI ステーションねむのき（まちの保健室）
- ・気になることものの相談カフェ

（北九州市、NPO 法人地域医療連携団体 Needs との協働事業）

- ・みんなの食堂もやい（銀杏庵）、 96cafe もえもえキッチン（黒崎）
（子ども食堂ネットワーク加盟団体北九州市こども家庭局）
- ・赤ちゃんの駅 登録（銀杏庵・96cafe）
- ・福祉避難所 登録（銀杏庵、雪月花）
- ・もやいメディアケアシネマ（医療や福祉を題材とした）映画上映会
- ・もやい通りマルシェ（毎月第三土曜日 8 年目）
- ・学生カフェの開催

②地域を拠点とした活動

- ・緑ヶ丘第二幼稚園、竹末小学校など地域の学校との交流活動
- ・洞南肆地区山笠のしぶき作り
- ・洞南肆地区山笠の休憩場所の提供
- ・モバイル屋台（専門職による地域の中での健康相談や介護相談）
- ・竹末小学校、桜ヶ丘小学校などでのキャリア教育
- ・地域のまち美化清掃活動
（鉄王西公園、相生公園、銀杏庵沿道の花、雪月花沿道、竹末公園）
- ・龍王神社でのお花見茶会お手伝い
- ・龍王神社の注連縄づくりのお手伝い
- ・どんど焼きのお手伝い
- ・地域との連絡調整会議への参加
担当者（①引野地区、②穴生地区、③竹末若葉地区）
- ・黒崎まちなかオレンジカフェ
- ・黒崎まちなか探検隊
- ・出張健康チェックや健康・介護相談
（オレンジカフェ、ふれあい村竹末、サロン等）
- ・ボルクバレット北九州応援団（職員、入居者、利用者とともに）
- ・落語家の橘屋文太さん応援団